I ♥ Y.K.

かばっちTIMES

LINE公式アカウント
かばさわ洋平

千葉市政・市議会や活動の
情報を発信しています。
ご登録お願いします♪

市政に対するご意見・ご要望や生活相談などお気軽にお寄せください！

コロナ禍で苦しむ市民の暮らし守る予算を

【かばさわ議員】市長はコロナ禍により市民の深刻な生活実態をどのように受け止めているのか。派遣切りや雇い止めの労働者学生、ひとり親など弱い立場の人がどんどん苦境に陥っている。千葉市は今こそ、市民の命と暮らしを守るために保健所強化、医療支援、事業者、学生や妊婦、ひとり親世帯への給付金独自支給、４月２８日以降に生まれた市民に１０万円を独自支給すること等、財政調整基金や国の第２次補正予算で追加される地方創生交付金を最大限に活用して実施することについてどうか。

【市長】今なお多くの市民・事業者が、生活・雇用の維持や事業継続等に不安を抱えており、引き続き公的な支援が必要な状況にあるものと認識している。現在、国で審議されている第２次補正予算においては、住民の命と暮らし、雇用と産業を守るべく、ひとり親家庭や中小企業・小規模事業者等への支援学校再開に伴う体制の整備などが盛り込まれており、これらの支援等が確実に市民・事業者に行き渡るよう、国に呼応し適切に対応する。また、国や県の支援が届きにくい分野については、本市においてきめ細かな支援を実施する必要があると認識しており、地方創生臨時交付金の他、必要に応じて財政調整基金を機動的に活用しながら、効果的な対策を切れ目なく実施していく。

【かばさわ議員】コロナ禍でも大地震など複合災害への備えは急務である。避難所となる公民館や体育館の感染拡大防止の取組みとして、プライバシーテントや衝立を整備すること、非接触の体温計、簡易式の防護服、発熱者の隔離対応マニュアル整備し、各避難所で格差なく対応できるような取組みについてはどうか。

【総務局長】「避難所の過密状態防止」、「避難所の衛生管理及び避難者の健康管理の徹底」などを基本的な考え方とした、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針を本年４月下旬に策定し、避難所における感染拡大防止に取り組んでいる。また、これまでもマスクや消毒液などの衛生用品を整備してきたが、この運営方針を踏まえ、新たに健康管理のための非接触型電子温度計を全避難所に整備することとしたほか、必要な備蓄品の検討を進めている。今後は、運営方針の更なる周知を図るとともに、訓練での検証を行うなど、各避難所が適切な対応をとれるよう努めていく。

パーテーション

非接触型電子温度計

ひとり親給付金や避難所感染症対策が進展！

●ひとり親世帯臨時特別給付金

支給額　5万円/世帯　加算額　第2子以降　3万円/人 収入が大きく減少　5万円/世帯

●子育て世帯への臨時特別給付金

国の「子育て世帯への臨時特別給付金」に市単独で上乗せ支給を実施　支給額　1万円/人

●避難所等の感染症対策

段ボールベッド、パーテーション、防災用テント等の防災備蓄品を整備

普通教室エアコン設置を実現

かばさわ議員は市議会質問において、2020年夏までの小中学校普通教室エアコン設置を求めてきました。5月末に市内170校ある小中学校の普通教室エアコン設置が完了しました。

かばさわ議員は、エアコン設置後の教室を6月に視察しました。児童生徒がマスクをつけての授業を余儀なくされることから、熱中症予防のためにも積極的にエアコンを稼働するよう教育委員会に要望し、各学校へ通知されました。

また、災害時の避難場所となる体育館へのエアコン設置も要望し続けており7月に給食室にも使用可能なスポットエアコン2台が各学校に整備予定です。

学校の感染症対策推進のため教員の増員を！【第2回定例会議案質疑】

【かばさわ議員】政府・専門家会議は「人との間隔はできるだけ２メートルを空けること」をよびかけているが、３５人学級では２メートルはおろか１メートル空けることも不可能である。感染防止の観点から一層の少人数学級の推進と教員負担軽減が必要であるため、市独自で小中高校の教員、学習指導員の増員を緊急に図ることについてどうか。

【教育次長】少人数学級の更なる推進については学校の実情を踏まえ引き続き検討する。また、教員負担の軽減を図るため、全ての小中学校及び小中特別支援学校に学習指導員を配置するとともに教師が子供の学びの保障に注力できるようにするためのスクール・サポート・スタッフも、未配置校において同様に追加配置する。

【かばさわ議員】学校再開にあたりアルコール消毒液が教室にないという声が寄せられている。全ての教室に配備して給食前にアルコール消毒液を児童生徒が使えるよう環境を整えること、またトイレ清掃や校内消毒に対して、財政・人的支援を強化し教員負担軽減を図ることについてどうか。

【教育次長】現在、手指消毒薬は品薄の状態ではありますが、在庫が確認でき次第購入し、今後各校へ追加配布する。トイレ清掃や校内消毒は現在、児童生徒への感染リスクを考慮し、教職員が行っているが、今後、教職員の負担軽減を図るため、トイレ清掃に関しては、業者委託を進める。

【かばさわ議員】持病がある不安な児童生徒に対してや感染により再休校となった場合でも学習権を保障する取組みとして、タブレット端末と家庭ネット環境整備、専用ソフトを使用したオンライン授業への取組みを迅速に対応することについてどうか。

【教育次長】今後、一人一台端末環境の整備を進める。先進自治体で実施されている同時双方向型のオンライン授業についての研究を進め、登校不安のある子供たちを含め、一人一人の実態を踏まえて子供たちに寄り添う教育の実現を目指す。

コロナ禍での学校対策予算が前進しました

- ●学習指導員、スクールサポートスタッフ追加配置、スクールカウンセラー充実
- ●GIGAスクール構想の実現　１人1台の学習用端末を整備
- ●学校感染症対策　アルコール、マスク、ビニールカーテン等の整備

Twitter　YouTube

日本共産党　千葉市議会議員 かばさわ洋平

【事務所】〒266-0005 千葉市緑区誉田町2-24-275　TEL 292-7764　FAX 308-7729
【自宅】　〒266-0011 千葉市緑区鎌取町67-42　Email takumiuna@gmail.com
【日本共産党千葉市議団】　千葉市中央区千葉港1-1　TEL　043-245-5484